

藤間生大 せうだい 古代史學者。大正二年五月十六日廣島縣生乳（一九三二）
筆名こうま・せいだい。昭和十一年早稲田大學文學部卒。日本評論社勤
務の傍ら、マルクス主義の歴史研究に従事。戦後、日本民主主義
科學者協會事務局長、四十六年熊本商科大学教授。

著書 『日本古代國家』（昭和二十一年六月二十日伊藤書店）、『國家
と階級―大皇制批判序説』（昭和二十二年八月十五日札幌・大正社）、
『埋もれた金印』（昭和二十五年十一月二十五日、第一版埋もれた
金印―日本國家の成立）四十五年一月二十日岩波書店「岩波新書」、
『日本民族の形成―東亞諸民族の連關においこ』（昭和二十六年十一
月二十日岩波書店）、『秩父風雲録（秩父農民斗争記）』（昭和二十
七年九月一日埼玉・埼玉縣表民顕彰記念刊行連帯會）、『日本武尊』
（昭和二十八年六月一日創元社「現代国民選書」）、『民族の詩』（昭
和二十年一月十日東京大學出版會「東大新書」）、『歴史と実践』（昭
和二十年五月十五日大月書店）、『倭の五王』（昭和四十二年七月一
十日岩波書店「岩波新書」）等。

